

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 8 年 6 月 15 日	
佐賀県知事 殿	
住 所 佐賀県鳥栖市西新町 1375-26	
氏 名 アイリスオーヤマ株式会社 鳥栖工場	
統括本部長 副島 昌和	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0942-84-0808	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	アイリスオーヤマ株式会社 鳥栖工場
事業場の所在地	佐賀県鳥栖市西新町 1375-26
計画期間	令和8年 4月1日 ～ 令和9年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E 製造業 09
② 事業の規模	製品出荷金額 33,254,631千円
③ 従業員数	525人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和 7年度）実績】

産業廃棄物の種類

別紙のとおり

別紙のとおり

排 出 量

t

t

(これまでに実施した取組)

- ・新規業者開拓及び分別強化を図り、廃棄を有価買取に切り替え実施しました
(プラスチック類・金属類)
- ・昨年同様に木パレットの補修修繕を実施又、木くず排出量を制御する為に、
プラスチックパレットへの切り替えを進めました。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

別紙のとおり

別紙のとおり

排 出 量

t

t

(今後実施する予定の取組)

- ・廃酸、動植物性残渣処理の割合がほぼ半数を占めている為、新規業者開拓進め産廃処理から有価買取に切り替えます
- ・設備メンテナンス強化を図り汚泥・廃油排出量削減に努めます

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・産業廃棄物を分類毎に、委託できる業者と書面による契約を行っています。 ・契約の際は、業者現調を必ず行いリサイクル処理の確認を行っています。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・可能な限り優良認定処理業者への委託処理を行います。 ・業界のネットワークを活用し再生処理行える業者との取組みを進める。 ・電子マニフェストの運用の為、電子マニフェスト対応可能な処理業者を選定して契約を行います。		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項														
①現状	【前年度（令和 7年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	廃酸	動植物性残さ	プラスチック類	木くず	リサイクル家電	汚泥	管理型混合	安定型混合	廃油	電池	蛍光灯	ガス・コンタクト・機器	
	排 出 量	717,240 t	562,600 t	375,231 t	241,870 t	104,920 t	159,500 t	16,080 t	- t	0.620 t	5,040 t	0.083 t	0.360 t	t
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	廃酸	動植物性残さ	プラスチック類	木くず	リサイクル家電	汚泥	管理型混合	安定型混合	廃油	電池	蛍光灯	ガス・コンタクト・機器	
	排 出 量	650,000 t	500,000 t	340,000 t	217,000 t	94,000 t	143,000 t	14,500 t	- t	0.500 t	4,500 t	0.000 t	0.100 t	t

(第3面)

[illegible]

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)
(第4・5面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																	
①現状	【前年度（令和 年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	廃酸	動植物性残さ	プラスチック類	木くず [※]	リサイクル家電	汚泥	管理型混合	安定型混合	廃油	電池	蛍光灯	ガラス・コンタクト・陶器				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	廃酸	動植物性残さ	プラスチック類	木くず [※]	リサイクル家電	汚泥	管理型混合	安定型混合	廃油	電池	蛍光灯	ガラス・コンタクト・陶器				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																	
①現状	【前年度（令和 7年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	廃酸	動植物性残さ	プラスチック類	木くず [※]	リサイクル家電	汚泥	管理型混合	安定型混合	廃油	電池	蛍光灯	ガラス・コンタクト・陶器				
	全処理委託量	717.240 t	562.600 t	375.231 t	241.870 t	104.920 t	159.500 t	16.080 t	- t	0.620 t	5.040 t	0.083 t	0.360 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	717.240 t	99.740 t	4.290 t	35.880 t	- t	159.500 t	- t	- t	0.620 t	- t	0.083 t	0.360 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	- t	462.860 t	370.941 t	205.990 t	104.920 t	- t	16.080 t	- t	- t	5.040 t	- t	- t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	t	t	t	t
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	廃酸	動植物性残さ	プラスチック類	木くず [※]	リサイクル家電	汚泥	管理型混合	安定型混合	廃油	電池	蛍光灯	ガラス・コンタクト・陶器				
	全処理委託量	650.000 t	500.000 t	340.000 t	217.000 t	94.000 t	143.000 t	15.000 t	- t	0.500 t	4.500 t	- t	0.100 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	650.000 t	90.000 t	5.000 t	32.000 t	- t	143.000 t	- t	- t	0.500 t	- t	- t	0.100 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	- t	410.000 t	335.000 t	185.000 t	94.000 t	- t	15.000 t	- t	- t	4.500 t	- t	- t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	t	t	t	t